

周南・大津島で 22日哲学カフェ

参加者を募集

硬いイメージがある哲学をコーヒーでも飲みながら気軽に楽しむ「哲学カフェ」が22日、周南市大津島の馬島公民館で開かれる。テーマは「ひととはなぜ島に愛こまれるのか?」。参加者を募集している。

哲学カフェは、徳山工業

高等専門学校(周南市学園台)で哲学を教える小川仁志准教授が市中心商店街の徳山高専夢広場で開催しているもので、哲学的なテーマについて学生や一般市民が自由に意見を交わし合う。香川県から母親の故郷の大津島へ農作業などのために通っている古米邦生さん(49)が「高齢化の進む大津島に若い人たちが足を運ぶきっかけをつくり、周南市民にとって一番身近な島について考えてもらえれ

ば」と同高専に依頼して今回初めて実現した。

小川准教授は「まちづくりを目的に始めた哲学カフェが島おこしの運動とコラボして、一緒に島を盛り上げるのに役立てば」と話している。

開催時間は午後3時から5時まで。参加無料。参加希望者は同高専(☎08334・29・6227、ファクス08334・28・7605)に事前連絡するよう呼び掛けている。